

# 行政事業レビュー 「国内広報」

令和5年6月  
広報文化外交戦略課・国内広報室・広聴室

# 事業「国内広報」概要

外交政策を円滑に遂行するに当たって、国民の理解と支持が必要不可欠であり、政策の具体的内容や政府の役割などについて、迅速で分かりやすい説明を行うことが重要である。

その手段の一部として、外務省HP「キッズ外務省」、高校講座、外交講座、国際情勢講演会、『外交』の発行、パンフレットの作成を行っている。(また、その前提として、国民の意見を聞くべく、世論調査や広聴を行っている。)

令和4年度支出額: 55,524千円 (令和4年度支出額。キッズ外務省(デジ庁予算)含む)

## 外交専門誌「外交」

- ・令和4年度支出額: 35,000千円
- ・国内唯一の外交専門誌として、様々な角度から外交の実像・分析を発信し、活発な議論の場を提供。

## キッズ外務省

- ・令和4年度支出額: 1,694千円 ※デジ庁予算
- ・小中学生を対象に外務省の業務、外交政策、各国の情報、国際問題等を紹介するサイト。

## 各種パンフレット

- ・令和4年度支出額: 3,971千円
- ・日本の外交政策等について国民の理解を促進するための国内向け広報啓発資料を作成。

## 国内啓発宣伝資料の送付・管理経費

- ・令和4年度支出額: 1,545千円
- ・パンフレットの「保管・発送業務」の外部委託。

## 国際情勢講演会

- ・令和4年度支出額: 435千円
- ・幅広い世代の国民を対象に外交政策・国際情勢に関する知識の普及、理解促進を図るための講演会。

## 外交講座

- ・令和4年度支出額: 2,572千円(高校講座分と合算)
- ・大学生・大学院生の国際情勢・外交問題に関する関心を喚起し、理解を深めてもらうことを目的に外務省職員が全国の大学で講演会を行う。

## 高校講座

- ・令和4年度支出額: 2,572千円(外交講座分と合算)
- ・高校生に外交・国際情勢に対する理解を深めてもらうべく、全国の高校で外務省員が国際理解や外交官の職務について講演

## 国際問題プレゼンテーションコンテスト

- ・令和4年度支出額: 831千円
- ・大学生等を対象とした、国際問題に関するプレゼンテーションコンテスト。

## 外交に関する国内世論調査

- ・令和4年度支出額: 2,838千円
- ・昨今の国際情勢、特定の外交政策や外務省の業務に関する国民各層の意識及び世論の動向を把握し、外交政策策定の参考とする。

## 広聴業務

- ・令和4年度支出額: 6,638千円
- ・国民の声を広く聴き、外務省における業務の参考とする。

# 外交専門誌 『外交』

- 平成22年9月創刊。年6回(奇数月末)発行。A5版約150ページ。
- 国内唯一の外交専門誌。
- 様々な角度から外交の実像・分析を発信し、活発な議論の場を提供。
- 企画・制作は入札(総合評価方式)で決定した業者に委託。  
外務省の承認を得て設立した外部有識者からなる編集委員会が編集。  
質の高い論壇誌を目指す。  
(令和5年度予算額:35,595千円)



## 【発行形態】

発行： 外務省

企画・制作： Vol.31～ 都市出版(株)

(Vol.1～Vol.6及びVol.13～30は(株)時事通信社、Vol.7～Vol.12及びVol.31～は都市出版(株)から発売。)

編集： 『外交』編集委員会 (Vol.31～)

編集委員長：	中西 寛	京都大学法学研究科教授
編集委員：	飯塚 恵子	読売新聞編集委員
編集委員：	川島 真	東京大学大学院教授
編集委員：	細谷 雄一	慶應義塾大学教授
編集長：	中村起一郎	都市出版株式会社

## 【発売】

大手書店、オンライン書店で書籍(紙媒体)を購入可(定価820円(税抜))。電子書籍版は発売月翌月10日頃に発売(定価500円(税込))。

書店取次店(トーハン、日販、楽天BN、鎌谷、中央社、八木、全官報)を通じて全国の書店に発送。「外交」は、返本数が少なく、善戦中。

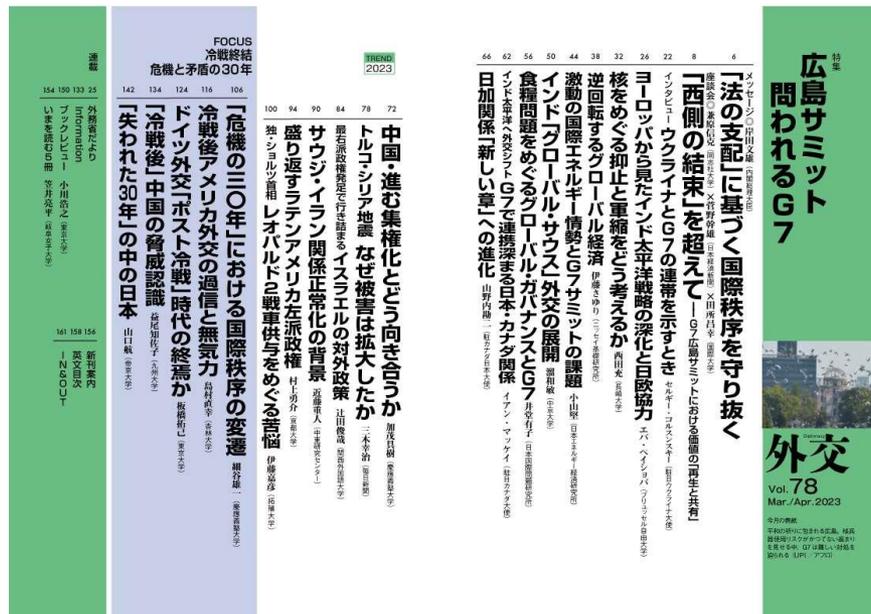
売り上げ状況例(vol.72)：取次店を通じての書店販売部数 2620部(定期購読者等を除く)に対して 実売数 2418部 実売率92.29%

# 外交専門誌『外交』



## 令和4年以降に取り上げた特集テーマ

- ・「2022年 世界と日本の選択」(2022年1・2月号)
- ・「ウクライナ侵攻の衝撃波」(2022年3・4月号)
- ・「『瀬戸際』に直面する世界」(2022年5・6月号)
- ・「長引く戦争 広がる波紋」(2022年7・8月号)
- ・「グローバル・サウスからみた世界」(2022年9・10月号)
- ・「習近平長期政権への条件」(2022年11・12月号)
- ・「安保戦略は転換する」(2023年1・2月号)
- ・「広島サミット 問われるG7」(2023年3・4月号)



# 外務省ホームページ「キッズ外務省」

## 【概要】

- 平成18年度に開設。主に小中学生を対象に、外務省の業務、外交政策、各国の情報、国際問題等を紹介するサイト。
- クイズやイラストを活用し、若い世代に興味・関心を引くコンテンツを提供。
- 「キッズ外務省」は、子どもや保護者が気軽にアクセスできるサイト。

## 【予算】

1. ホームページコンテンツ企画・編集委託経費(デジタル庁予算):  
1,694千円
  - 令和4年度及び令和5年度はデジタル庁予算(外務省システム関連予算は一律デジタル庁予算に)。ただし、本事業の計画、立案、実行等は外務省。
  - 令和6年度からは外務省一般予算となる予定。
2. 子ども向け国内広報啓発用経費:  
16,183千円(令和5年度(単年度))
  - 複雑化する外交・時事問題を分かりやすく解説した動画等を作成し、「キッズ外務省」に掲載。また、同サイトの魅力や利便性改善のための改修等も併せて実施。



どうが  
動画で見ると  
どうなるか  
外務省の仕事



もっと知りたい  
外務省



がいこうかんけんてい  
キッズ外交官検定



せかいに  
いろいろ  
いる  
世界の  
雑学ランキング



せかいの  
こころ  
世界の国旗



せかいの  
こころ  
世界の国々



せかい  
世界の学校



スポーツフォー  
tomorrow



せかい  
世界は日本と共にある!  
東日本大震災



みんなの質問  
Q & A

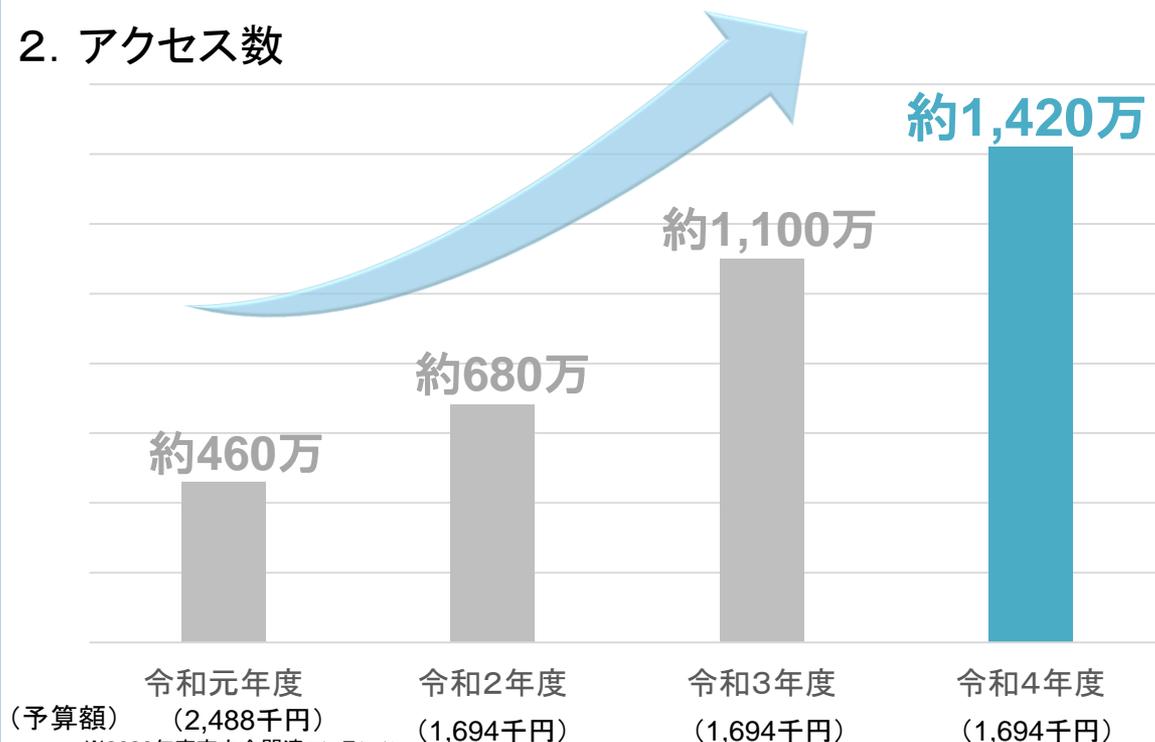
# 外務省ホームページ「キッズ外務省」

## 【実績】

### 1. 業務内容

- 令和元年度:「世界は日本と共にある～東日本大震災～」改修及び新規コンテンツ「Sport for Tomorrow」制作等
- 令和2年度:トップページのリニューアル等
- 令和3年度:「動画で見る 外務省の仕事」及び「キッズ外交官検定」のリニューアル等
- 令和4年度:「もっと知りたい外務省」のリニューアル等

### 2. アクセス数



※2020年東京大会関連コンテンツ制作として、増額が認められたため



# 外務省ホームページ「キッズ外務省」

## 【広報】

### 1. SNS

- 令和3年度は、「こども霞が関見学デー」の実施に合わせて、クイズを用いた投稿を実施。
- 令和4年度から「#キッズ外務省のトリセツ」シリーズ(中長期的な紹介投稿)を開始。

### 2. その他

- 令和4年及び5年に、テレビ・新聞にて報道。
- 令和5年版外交青書でも『「キッズ外務省」のトリセツ』と題した紹介コラムを掲載。
- コンテンツをリニューアルした際には、Twitter及びFacebookを用いて、広報を行っている。



## ちびっ子向け官庁紹介クイズサイトが人気 簡単？意外と難しい？



【令和4年4月29日毎日新聞】



【令和4年7月22日フジテレビ「イット！」】



【令和5年5月14日NHKニュース】

# 各種パンフレット

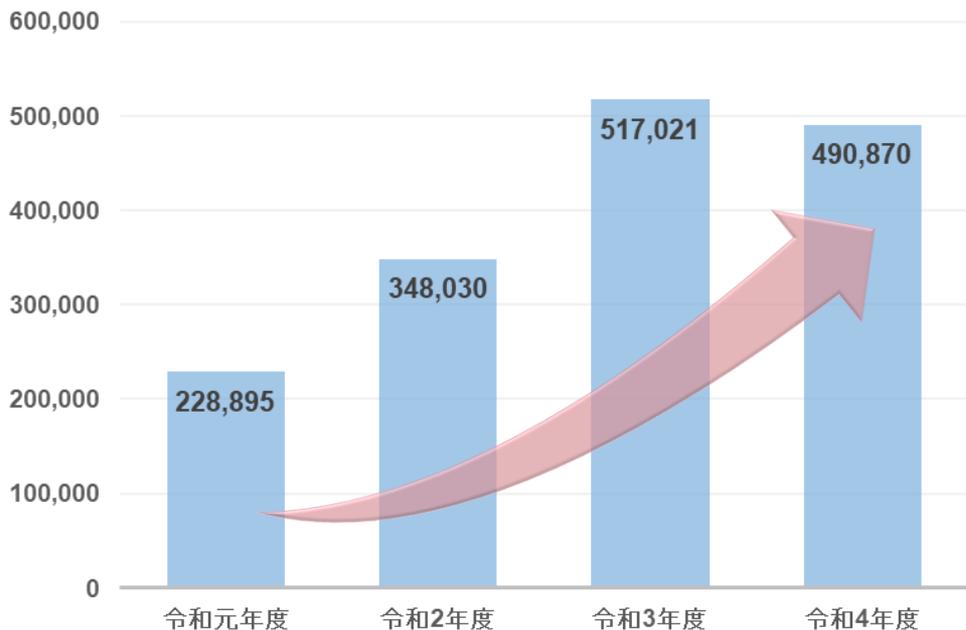
- 日本の外交政策等についての国民の理解を促進するための国内向け(日本語)広報啓発資料の作成。
- 作成テーマは①組織広報又は②戦略的に作成する必要性が高いものに厳選。
- 平成25年度から電子パンフレットも併せて作成。
- 「外交という仕事」では、若手省員のメッセージ動画や、モーショコミック 動画を YouTubeで配信するなど、デジタル化を進めている。(令和5年度予算額: 3,537千円)

【実績】※(電子+動画)はそれぞれ1件とし、2件としてカウント

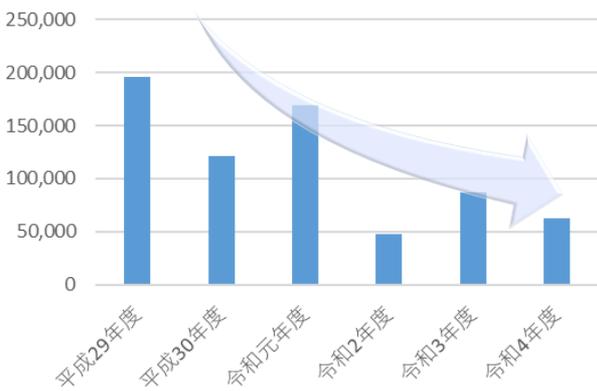
年度		タイトル	作成部数
令和4年度 (予算額: 4,085千円、 5件 63,000部)	新規	What is the G7 Summit?	15,000
	改訂	日本とASEAN	電子のみ
		なるほど発見! 南西アジア	3,000
		中央アジア・コーカサスと日本	5,000
増刷	外務省	40,000	
令和3年度 (予算額: 6,387千円、 10件 87,000部)	新規	TICAD8に向けて 新型コロナウイルス感染症との闘い	電子のみ
		さかなクンと学ぶ漁業外交 ～持続可能な漁業とSDGsの達成を目指して～	電子+動画
		女性・平和・安全保障 (Woman, Peace, Security: WPS)について	3,000
	改訂	外務省	50,000
		外交という仕事	25,000+動画
		外務省活用マニュアル	電子のみ
増刷	外交という仕事	5,000	
	外務省	4,000	
令和2年度 (予算額: 6,742千円、 7件 48,000部)	新規	誰一人取り残さない社会に向けて ビジネスと人権	10,000
		外交という仕事 広報動画	動画
	増刷	外交という仕事	10,000
		外務省活用マニュアル	28,000
データ修正		日本とASEAN、中央アジア・コーカサスと日本、外務省	3件

# 各種パンフレット

## アクセス数

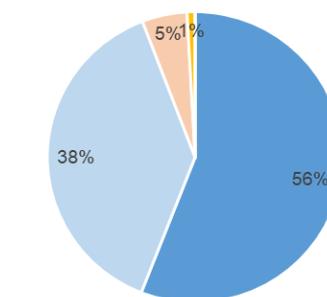


## パンフレット印刷部数

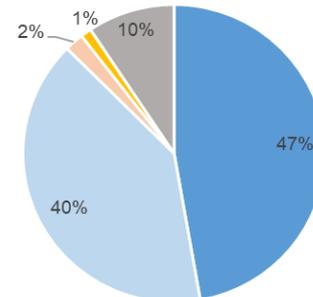


- 年間50万弱のアクセス数がある。
- 電子媒体への切り替えを進めており、必要な紙媒体は残しつつ、全体の印刷部数は減少している。現在は電子媒体のみ作成のパンフレットもある。

## パンフ



## 動画



■ とても良かった ■ まあまあ良かった ■ まあまあ良くなかった ■ 全く良くなかった ■ 無回答



## ↑「外交という仕事」アンケート結果

●「外交という仕事」の省員インタビューは、令和元年度、令和2年度に全国の小中学校に送付した際に回収したアンケートで、9割以上の教職員から好評を得た。

●また、本動画についても、「表情を見ながら聞けるので、子供にとっても分かりやすい。」「外国語を話している様子がかっこよく、憧れる子もいる。」「パンフレットだけでなく、動画は動きがあるので分かりやすい。」などのコメントが届き、好評を得ている。

# 国内啓発宣伝資料の送付・管理経費

- パンフレットの「保管・発送業務」を外部委託するもの。
- 当省には、適切な保管スペース並びに封入や発送作業を行う人員・作業場所がないため、平成18年度から外部の専門業者に委託している。
- 実施に当たっては公募による一般競争入札を実施。
- なお、令和6年度から、パンフレットのデジタル化を推進し、紙のパンフレットを可能な限り削減するとの方針を進めており、本件経費を廃止する予定。

## 【予算】

予算年度	予算額
令和5年度	1,681千円
令和4年度	1,930千円
令和3年度	1,930千円



# 国際情勢講演会

幅広い世代の国民を対象に外交政策・国際情勢に関する知識の普及、理解促進を図るための講演会。

## 【実施要領】

- ・全国各地の地方自治体・国際交流団体・教育機関等からの申請を受け、採用が決定された団体と外務省との共催事業として実施
- ・申請団体の希望するテーマで講師を派遣
- ・講師は外務省職員及び元外務省職員
- ・一般公開、参加費無料
- ・外務省HP及びSNSを通じて募集。
- ・共催開催が認められた団体はSNSも活用し開催広報や聴衆を募集。



## 【予算】

- ・令和5年度:667千円(10回程度)
- ・共催事業として経費の一部(庁費:31,500円(上限)、啓発宣伝費:19,500円(上限))、講師派遣旅費(職員:旅費、元職員:謝金)を外務省が負担 ※令和2及び3年度はオンライン形式で開催、講師派遣なし。

## 【近年の開催実績】 (平成14年度から開始)

- ・令和2年度実績:6回 336人参加  
(年度前半は新型コロナウイルス感染症拡大のため実施できず。11月以降全てオンラインで実施)
- ・令和3年度実績:5回 422人参加 (全てオンラインで実施)
- ・令和4年度実績:7回 954人参加 (オンライン4回、対面3回)

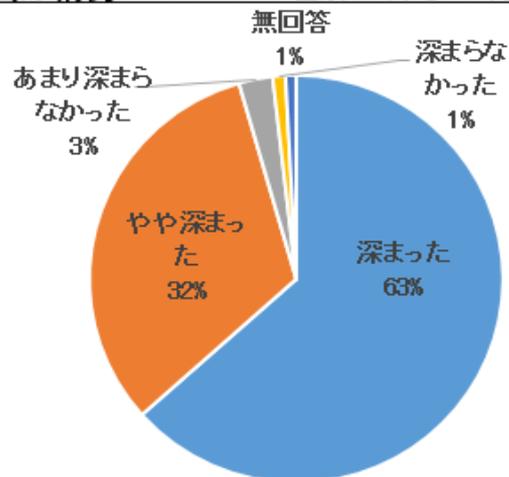


## 【令和4年度実施例】

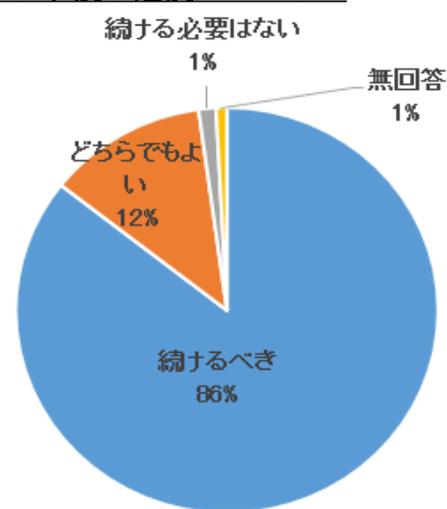
開催団体(抜粋)	演題	開催形式	参加人数
日本国際連合協会福岡県本部	「変動する国際秩序と我が国の安全保障政策」	オンライン	231人
山口日米協会	「歴史の岐路に立つ日本とアメリカ 揺るぎない日米同盟の未来像」	対面	102人
日本国際連合協会京都本部	「ポスト・コロナ時代の日韓文化交流」	オンライン	86人
新潟県立大学	「ロシア情勢」	オンライン	234人
国連NGO国内女性委員会	「第7回国連総会報告会－ジェンダー視点から第3委員会を中心に－」 ※国際女性会議WAW！2022サイドイベント	対面	63人
駒ヶ根市	「近年におけるネパール情勢及び母子保健の現状」	オンライン	160人

## 【令和4年度アンケート結果】

講演会に参加して日本の外交政策、  
国際情勢についての理解が深まったか



講演会は今後も継続するべきか



# 外交講座

大学生・大学院生の国際情勢・外交問題に関する関心を喚起し、理解を深めてもらうことを目的に外務省職員が全国の大学で行う講演。

## 【実施要領】

- ・大学が希望するテーマ、時期を明示し、外務省に申請。講師として外務省員を派遣。
- ・外務省HP及びSNSを通じて募集。



## 【予算】

- ・令和5年度: 2, 593千円(高校講座と共通)
- ・平成24年度から、基本的に開催大学が講師派遣経費を負担し開催(大学負担対面型、令和2年度からオンライン型を追加)
- ・平成25年度から、一部の地方大学のみ外務省が講師派遣経費を負担(外務省負担対面型: 10大学程度)

## 【近年の実績】

- ・令和2年度実績: 13講座 1, 540人参加  
(年度前半は新型コロナウイルス感染症拡大のため実施できず。9月からオンライン形式で実施)
- ・令和3年度実績: 23講座 2, 237人参加  
(新型コロナウイルス感染症拡大のため、全てオンライン形式で実施)
- ・令和4年度実績: 29講座 2, 390人参加  
(オンライン実施14講座、対面実施15講座)

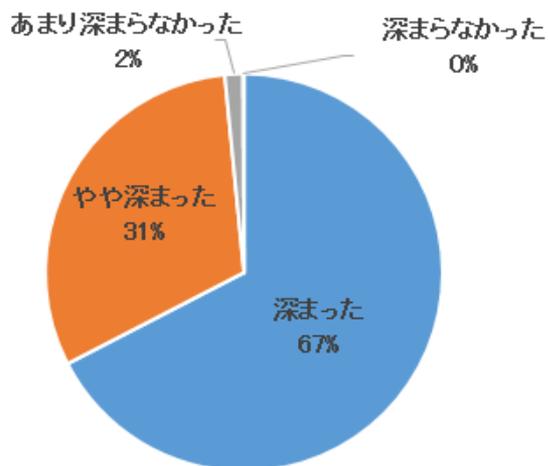


## 【令和4年度実施例】

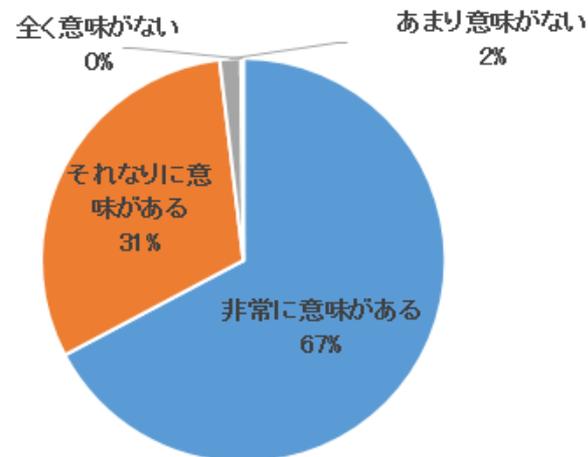
大学名	テーマ	開催形式	参加人数
明治学院大学	外交と環境	オンライン	92人
金沢大学	人権	対面	75人
京都産業大学	日米関係の現状と課題	オンライン	60人
愛知学院大学	海外での安全対策	対面	120人
熊本大学	エネルギー・鉱物・食料安全保障	対面	169人
広島市立大学	G7広島サミットと外交	対面	60人

## 【令和4年度アンケート結果】

講演テーマ、及び外交政策について  
認識が深まったか



外務省が「外交講座」を行うことについて  
どう思うか



# 高校講座

高校生に外交・国際情勢に対する理解を深めてもらうべく、全国の高校で外務省職員が国際理解や外交官の職務について講演。

## 【実施要領】

- ・各都道府県の教育委員会又は国際関係部に希望校の推薦を依頼
- ・各都道府県を通じて希望が示された学校の中から、原則として1～6校程度実施
- ・講師は外務省職員（原則として、在外勤務経験者）

## 【予算】

- ・令和5年度：2,593千円（外交講座と共通）
- ・外務省職員の派遣費用は外務省が負担

## 【近年の実績】

- ・平成7年度から毎年度100～130講座開催
- ・令和2年度実績：61講座 17,026人参加  
（年度前半は新型コロナウイルス感染症拡大のため実施できず。9月からオンライン形式で実施。）
- ・令和3年度実績：123講座 37,536人参加  
（新型コロナウイルス感染症拡大のため、オンラインを中心に実施（12月のみ一部対面形式で実施。））
- ・令和4年度実績：126講座 34,380人参加  
（対面形式を中心に、オンラインも組み合わせて実施。）アンケートを実施したところ、回答総数30,389人のうち、好意的総数は29,008人（全体の約96%）であった。



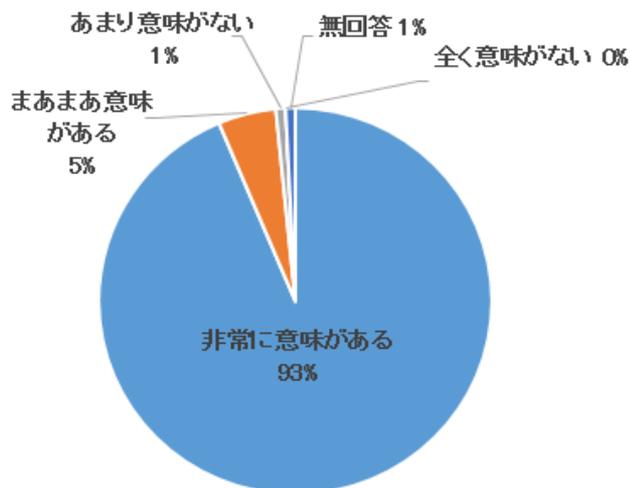
## 【令和4年度実施例】

高校名	演題	開催形式	参加人数
三重県立四日市高等学校	外交官の仕事 ～三重出身の私がなぜ外交官になったのか～	対面	1,020人
福岡県立輝翔館中等教育学校	外交という仕事: 平和や民主主義の大切さ	対面	268人
高知県 土佐女子高等学校	Work hard, Play hard!	オンライン	303人
大阪府立淀川清流高等学校	外交官のお仕事	対面	138人
北海道 北海道科学大学高等学校	外交という仕事	オンライン	275人
富山県立富山いずみ高等学校	外務省・外交官、政府・国家公務員のやっていること	オンライン	140人

## 【令和4年度アンケート結果】

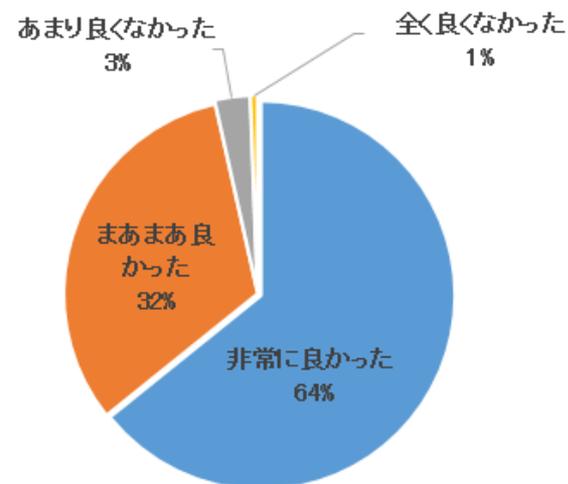
### (教員アンケート)

#### 「高校講座」の印象



### (生徒アンケート)

#### 講演について



# 国際問題プレゼンテーション・コンテスト

- 大学生等を対象とした、国際問題に関するプレゼンテーション・コンテスト。
- 日本の外交政策や国際情勢等に対する関心や理解の向上、同世代の仲間との切磋琢磨や交流の機会を提供することで、国際社会で活躍する人材の育成を図る。
- 昭和58年から原則毎年1回開催。受賞者の中には、外交の現場や国際社会で活躍する者も多い。(例:外務省、JICA、JETRO等)
- (令和5年度予算額:741千円)\*見積もり合わせにより業者を決定。
- 外務省HP及びSNSを通じて募集。



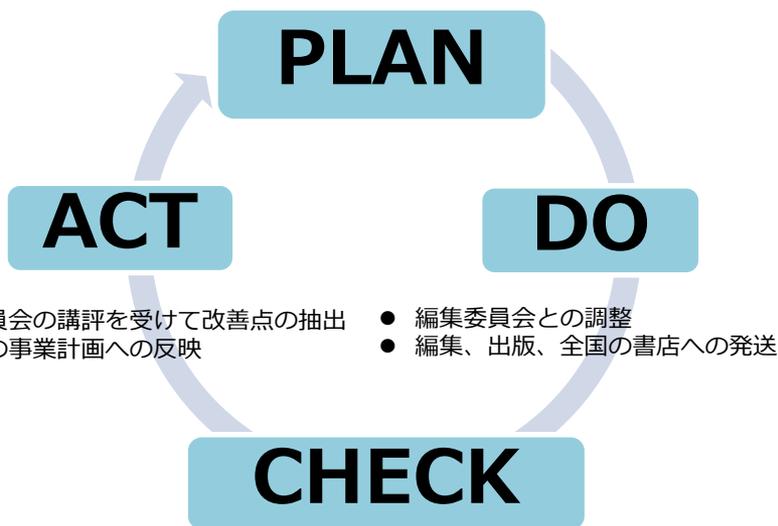
## 【近年の実績】

年 度	論 題	参加人数	会 場
令和2年度	私の提言～今だからこそ、日本が世界のためにできること～	103人	日本橋社会教育会館 (オンライン)
令和3年度	私の提言 ～我が国の経済安全保障に資する外交政策の在り方について～	107人	日比谷図書文化館 (オンライン)
令和4年度	私の提言 ～我が国は2023年G7議長国として、どのような成果を目指すべきか～	82人	日本橋社会教育会館 (対面・オンライン)

# 外交専門誌『外交』

## 事業の流れ (PDCA)

- 編集委員会で年初に方向性を検討
- 発行4か月前から全体的な特集を計画
- 発行2～3か月前から具体的な企画を決定



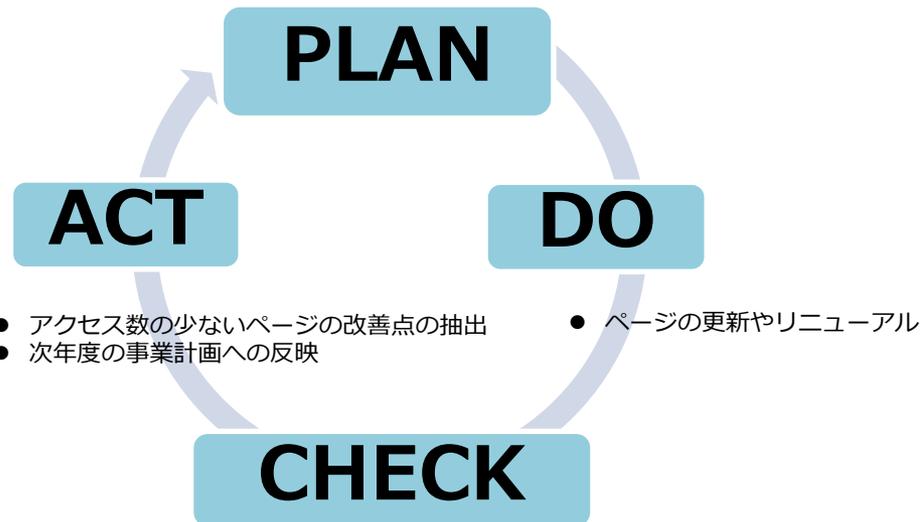
- 編集委員会の講評を受けて改善点の抽出
- 編集委員会との調整
- 編集、出版、全国の書店への発送
- 次年度の事業計画への反映

- 編集委員会で講評

# 外務省ホームページ「キッズ外務省」

## 事業の流れ (PDCA)

- 改修計画立案
- 国際情勢・アクセス状況等を踏まえて計画



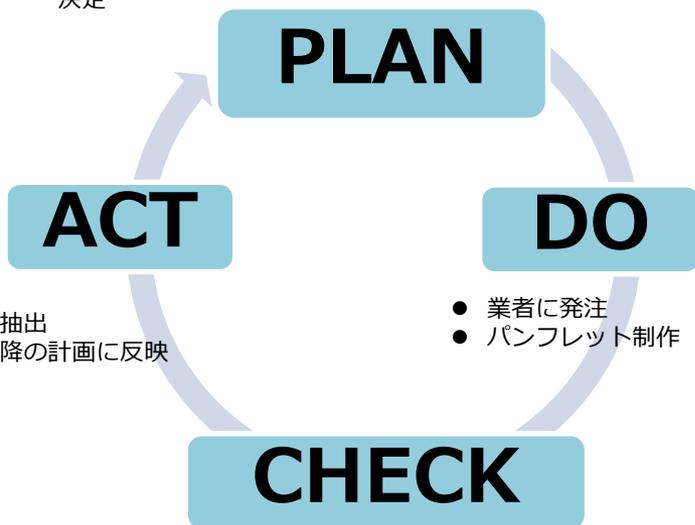
- アクセス数の少ないページの改善点の抽出
- ページの更新やリニューアル
- 次年度の事業計画への反映

- 更新やリニューアルを行ったページ及び既存の各コンテンツのアクセス数調査

# 各種パンフレット

## 事業の流れ (PDCA)

- 国際情勢を踏まえて、時宜にかなったテーマを選定し、年初にその年に作成、改訂するパンフレットを決定



- 改善点の抽出
- 来年度以降の計画に反映

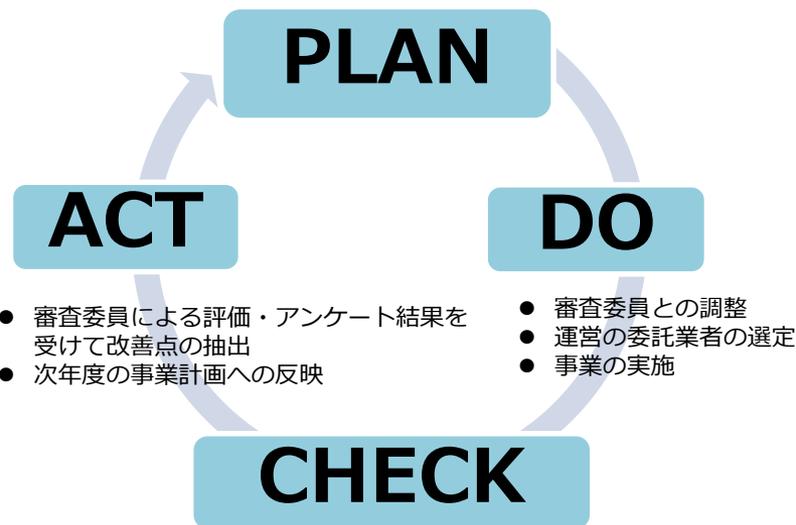
- 業者に発注
- パンフレット制作

- 作成した成果物の反響、アクセス数などを検証

# 国際問題プレゼンテーション・コンテスト

## 事業の流れ (PDCA)

- 国際情勢を踏まえて、時宜にかなったテーマを選定
- アンケートや審査委員からの指摘を踏まえ、開催時期等の事業計画を策定



- 審査委員による評価・アンケート結果を受けて改善点の抽出
- 次年度の事業計画への反映

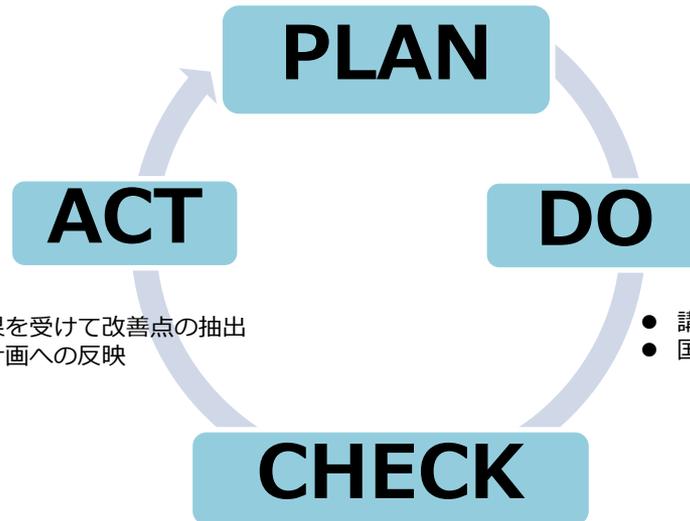
- 審査委員との調整
- 運営の委託業者の選定
- 事業の実施

- アンケートによる評価
- 審査委員による評価

# 国際情勢講演会・外交講座・高校講座

## 事業の流れ (PDCA)

- 先方のニーズ調査（講演テーマ等）結果やアンケート結果等を踏まえ、事業計画策定



- アンケート結果を受けて改善点の抽出
- 次年度の事業計画への反映

- 講師派遣又はオンライン形式で実施
- 国際情勢や先方のニーズに極力沿って実施

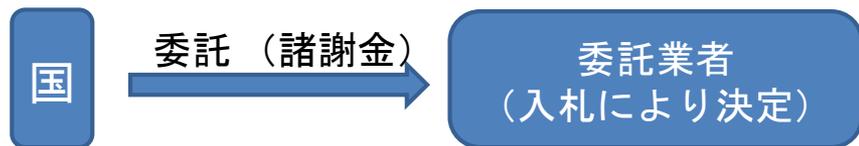
- アンケートによる評価

# 外交に関する国内世論調査

## 【事業概要・目的】

- ▶ 昨今の国際情勢、特定の外交政策や外務省の業務に関する国民各層の意識及び世論の動向を把握し、外交政策策定の参考とする。
- ▶ 省内各局と連携し、定点観測ではなく時宜に応じた設問を設定し、迅速性に優れた電話調査を行う。

## 【資金の流れ】



## 【事業イメージ・具体例】

### 令和4年度調査の設問例

- G7広島サミットで日本が議長国として特にリーダーシップを発揮すべき分野
- 東アジアの安全保障環境に対する認識
- 「自由貿易の推進」の方針と取組への評価
- 日米関係(強化を期待する分野)
- 日中関係(重視すべき点)
- 日印関係(関係を深めるべき分野)
- 中南米日系社会との連携 (関係構築すべき分野)

## 【期待される効果】

- 外交政策策定の参考とする
- 外交政策や外務省の業務に関する広報業務への参考とする

# 広聴業務

主要業務: 国民の声を広く聴き、外務省における業務の参考としている。

外交政策・外務省の業務のあり方に関する各種意見を省内共有。外務省における業務の参考としている。

- 外務省HPの意見・感想受付への投書
- 外務省HPの情報提供窓口への投書
- 首相官邸HP経由の投書
- 電子政府の総合窓口(e-Gov)経由の投書
- 電話・書簡



外務省

国民